

Beautiful Skin Newsletter. vol.02

ビューティフルスキンからおすすめの商品や肌に関する知識など
季節に合わせた情報をお届けします。



Pick up Item

気になる肌のお悩みに

紫外線ダメージによる肌のしみやくすみが気になる方はCフォーカスエッセンスがおすすめ。肌に浸透しやすい2種類のビタミンC誘導体をバランスよく配合。メラニンなど肌トラブルの原因に直接働きかけて使い続けるほど透明感のある美肌に導きます。紫外線量が多くなる時期は特に人気が高いスキンケアアイテムです。

Cフォーカスエッセンス（美容液）
30mL 4,285円(税抜)

＼ みなさまから多く寄せられた疑問にお答えします ／

ビューティフルスキン お悩み相談室



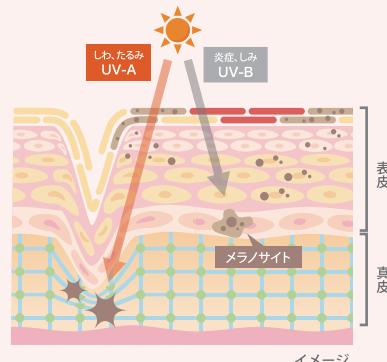
Aさん

ずっと家にいれば、紫外線対策を
しなくても大丈夫ですか？



お客様相談室
スタッフ

紫外線には、窓ガラスや薄いカーテンを通り抜け部屋の中まで届く長い波長の「UV-A」があります。そのため、室内でも紫外線対策が必要です。



紫外線には「UV-B」と「UV-A」があります。UV-Bは日焼けの主な原因であるのに対し、UV-Aはしみやたるみなど肌老化の原因に。室内で過ごす日もしっかり紫外線対策をして大切な素肌を守りましょう。

読みもの ~美肌理論~

花粉が肌に与える影響は?

日本人の花粉症の原因植物といえばスギ・ヒノキが有名です。飛散量のピークは3~4月ですが、5月以降もまだすっきりしないと感じる人もいます。それはイネ科の花粉によるものかもしれません。



イネ科花粉はスギやヒノキに次いで多い花粉症の原因です。スギ花粉症に悩む方の約半数はイネ科植物のカモガヤ花粉のアレルギーがあるというデータがあります。

カモガヤはイネ科の雑草で公園や河川敷などどこにでも生えています。飛散時期は5~9月頃まで地域によっては10月頃まで飛びます。

イネ科花粉症はスギやヒノキ花粉症のように鼻水、くしゃみ、目のかゆみに加えて肌にかゆみや赤みなどの「花粉症皮膚炎」を引き起こす可能性があります。

アトピー性皮膚炎の患者を対象に行ったThomas Werfelらの研究で、空気中にカモガヤ花粉を散布した環境と花粉のない環境で2日間試験したところ、花粉を散布した環境で露出している部位の肌状態が悪化したことがわかっています。

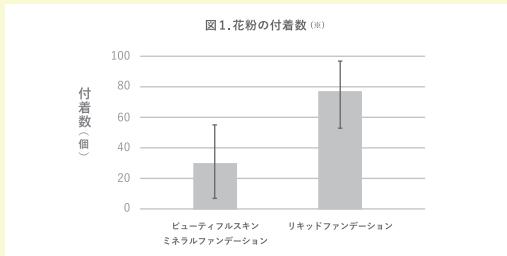
アトピー性皮膚炎は花粉やほこりなどの外部刺激を防ぐ肌のバリア機能が弱い状態です。

バリア機能は体质だけでなく摩擦などの刺激や強い洗浄、紫外線などでも弱くなります。肌の乾燥や肌荒れが気になる人はバリア機能が弱まっているので毎日の生活のなかで触れない対策が必要です。

カモガヤ花粉などによる花粉症皮膚炎を防ぐには肌に付着する花粉量を減らす方法が有効で、女性はベースメイクでも対策できます。



人工皮革にリキッドファンデーションを塗った試験片とビューティフルスキン ミネラルファンデーションを塗った試験片で付着する花粉数を比較した試験を行いました。試験の結果、ビューティフルスキン ミネラルファンデーションに付着した花粉数はリキッドファンデーションを塗布した試験片の半分以下になることがわかりました(図1)。



ビューティフルスキン ミネラルファンデーションを使用すると肌に付着する花粉を減らせます。「ベースメイクの見直し」も検討しましょう。

スタッフコラム

ビューティフルスキンの石下です。家で過ごす時間が増えて、みなさまいかがお過ごしですか？ 私はスパイスカレー作りに熱中しています。スパイスを調合するのはもちろん楽しいですが、こってりなら「生クリーム」、さっぱりなら「野菜ペースト」など気分にあわせて食材を選べば味は無限大。暑い季節は、夏野菜をたっぷり入れたカレーを楽しみたいですね。



ビューティフルスキン
公式SNSにて最新情報配信中！

